

11月12日(土)秋の里山で身近な生き物を探そう！

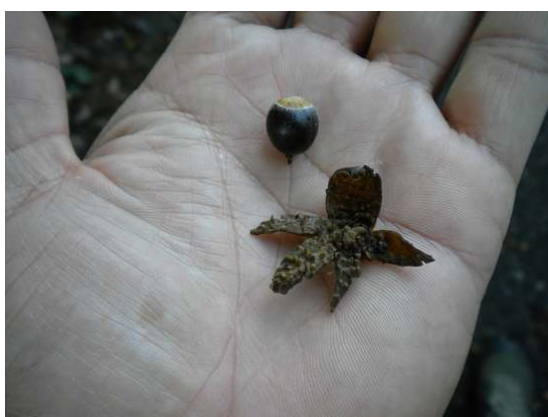
行程：豊川市役所 → 赤塚山 → 大和の大イチョウ → 豊川市役所

【 当日の様子 】



←前日までの雨もやんで、陽射しの暖かい絶好の散策日よりとなりました。当日は、小学生から一般の方まで、18名が参加しました。親子連れや、毎回参加をしている常連の小学生もいます。今回は、赤塚山で身近な生き物を探します。

→秋の終わり頃には、多くの種類のドングリを見つけることができます。さっそく、シラカシの木の下で、ドングリの特徴について学びました。この日は、ウバメガシやスダジイなど多くのドングリを見つけることができましたので、一部を紹介します。



←ツブラジイの実です。右側に見えるドングリの帽子のようなものは、殻斗（がくと）と言います。

→アベマキの実も、特徴的な殻斗をしています。





(上) クロガネモチの赤い実

(斜) ジョロウグモの巣をよく見ると、小さなクモがることがあります。それは、ジョロウグモのオスや、巣に居候するシロガネイソウロウグモの可能性がります。

(右) カナヘビやカエル、ミノムシは、冬を越すために、冬眠にはいます。



←豊津町(旧一宮町)へ場所を移しました。こちらでは、大和の大イチョウを観察しました。度重なる台風の影響で枝葉の一部が傷ついてはいますが、その迫力は健在です。

↓人の歩幅と三角定規を利用して、木の高さを測りました。結果は、約25mと事前に調べた高さとはほぼ同じになりました。

本日確認できた主な生き物

【植物】 シラカシ、ノウセンカズラ、ナンキンハゼ、ウバメ、ワタゲハマグルマ、クロガネモチ、ツブラジイ、シダジイ、ツバキ、ササクサ、チヂミササ、アベマキ

【昆虫】 オオセンチコガネ、ジョロウグモ

【ウズムシ】 コウガイヒル 等

